

【人脈形成】

日米貿易協定発効に関するレセプション「Wheat Trade with Japan」 (米国オレゴン州)

実施日： 令和2年1月23日

主催(共催)： 在ポートランド領事事務所 (米国小麦連合会共催)

関連企業： 当地進出日系商社各社、オレゴン州政府

在ポートランド領事事務所

【概要】

●我が国における小麦消費量の4割超を占める米国産小麦は、ほぼ全量がオレゴン州及びワシントン州で船積みされているところ、当地では1950年代から日系商社が活動を継続。

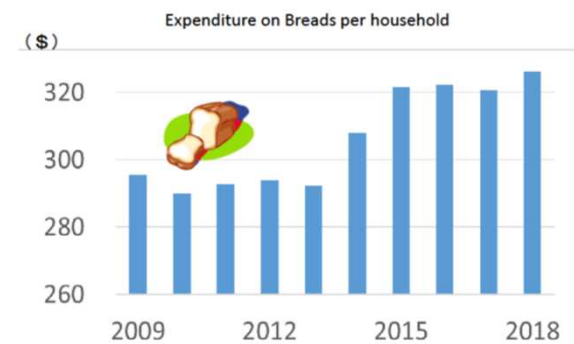
●令和2年1月に日米貿易協定が発効した機会を捉え、米国側関係者に対し、日系商社の活動状況や我が国への安定供給の重要性を説明する機会を設けた。

●オレゴン州農務局長、米国小麦連合会次期会長をはじめとする小麦関係団体及び米国進出日系商社10社ほかが出席。日本側からは、我が国における小麦消費の動向等について説明するとともに、各日系商社から自らの活動状況をプレゼンした。米国側からは、日本との小麦貿易は歴史的にも特別であり今後も関係が維持されることを願う等の挨拶があった。また、各商社から活動内容をプレゼンする試みは初めてであった。



写真：米国小麦連合会ホームページより

Trends of Demands for Breads in Japan



At a rate of 110 yen per dollar.